特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 214 号]　令和 2 年 2 月 26 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

2/26 自主防災訓練(2)

利根川決壊(想定)救助訓練

2 月 26 日(水)、今日は第 4 水曜日、小雨が降る中、自主防災訓練を古田、井坂、荻原、渡邉、中島の 5 名で実施をしました。全員それぞれがカナディアン・カヌーに乗って、松並橋までゴミ拾いを実施し、その後、松原大橋側付近で、人形救助、丸太引上げ、救命浮輪投的と引き寄せ等の訓練をしました。人や重いものを引き上げる時には、反対側にもう一艇が横付けして艇を保持しないと転覆の恐れがあることが分かりました。

カナディアン・カヌーは、スラローム艇より大きく、人命救助や物資輸送には向いていますが、小回りが利かないという事も分かりました。

今日の浮遊ゴミ回収は 4 袋分とブラウン管テレビ 1 台、木材類等でした。

テレビの内側にシジミが 30 個生息しているのを発見しました。機械廃棄物が良い漁礁になっていたようです。ちょっと嬉しい驚きでした。

ドナルド・キーン先生
一周忌追悼パネル展見学

2月26日(水)、古田、井坂、荻原、渡邉、中島の5名は、ゴミ拾いと自主防災訓練を終えて**松原大橋船着場へ上陸**し、**漸草庵**で休憩しました。丁度「ドナルド・キーン先生一周忌パネル展」が開催されていました。抹茶と和菓子をいただき、和室に展示されたキーン先生の著書や草加ゆかりの写真類を見学しました。先生は、日本文学を英文に翻訳して、世界に広めてくれた文学者ですが、晩年は芭蕉の「おくのほそ道」で街おこしを始めた草加のために、何度もおいでになり草加の文芸・文化発展に貢献してくれました。奥州・日光道中草加宿、名勝草加松原、芭蕉とドナルド・キーン先生・・・少しずつですが、歴史や文化の香りがする魅力ある街になってきました。

NPO法人「今様草加宿」は、文化会館の改修と川の駅そうか村構想を検討しています。NPO法人「草加市カヌー協会」は綾瀬川の再生と清流館構想を検討しカヌーのメッカにする構想を考えています。これからの活動に期待が寄せられます。